

本県の新庄最上、秋田県湯沢、宮城県大崎の3地域が連携して訪日外国人旅行者を誘客する「新庄最上・湯沢・大崎地域インバウンド誘致キャンペーん台湾訪問団」(団長・山尾順紀新庄市長)が、台北で開かれた「台北国際旅行博2011」(11~14日)に参加し、最上地域などの魅力を売り込んできました。「新庄まつり」や温泉、四季豊かな自然を発信し、交流人口拡大に向けて飛躍のきっかけをつかんだ。キャンペーんの模様を報告する。

売り込め新庄最上

11/18 (上) 山新

外国人誘客 3 地域の台湾訪問団

今年が建国100年に当たり、盛り上がりをみせる

台湾。会場の台北国際貿易

センターには韓国、香港、タイなど61の国・地域から旅行、鉄道、航空会社など

約850団体が出演。ブースの数は昨年より300も

なった。来場者数は4日間で4万人増の25万人。日本

からは九州観光推進機構、日光市など44団体が出演し、92ブースが所狭しと並んだ。

各国や参加団体は、积

(しゃか)の操り人形、癒

やしのマッサージ体験、花

温泉の「リゾートゾーン」と、欧米アフリカ中東

区、アジア太平洋区、観光農場、テーマパークなどの総合旅行ゾーンがあり、約1500のブースが並んだ。

会が主催し19回目。会場は

2万9千人収容の台北国際

貿易センター。ホテル、民

宿、温泉の「リゾートゾーン」と、欧米アフリカ中東

区、アジア太平洋区、観光農

場、テーマパークなどの総

がすりと並ぶ。20%超格安な旅行商品もあるとあって、会場はできるだけ低料金で海外に出掛けようとする若者らであふれた。

台北旅行博に参加

恵まれた資源をPR

まつり法被で盛り上げ

安心安全なおいしい味覚も

いっぱい」と呼び掛けた。

川崎昭栄・新庄山車(や

ことけし作り体験など3地

域の観光資源を紹介するパ

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

売り込み新庄最上

外国人誘客 3 地域の台灣訪問回

11/19 山東
下

の方法と、観光政策の通過型から滞在型への練り直しを考えさせられるセールスとなつた。

当係長は「2003年から
参加し、松本も徐々に知ら
れるようになつた。台湾か
ら年間約5千人が訪れてお

本県の新庄最上・秋田県
湯沢、宮城県大崎の3地域
が連携した「新庄最上・湯
沢・大崎地域インバウンド
(訪日外国人旅行者)誘致
キャンペーン台湾訪問団」

東北観光に強い大手・太平洋旅行社の陳天福海外営業担当は新庄最上に関心を示し、「新庄まつりを見学する場合、地元に宿泊は可能」と指摘。事故の影響で東北地方は敬遠されたが、台湾人からは豊かな自然景観と紅葉温

富山各県の各地域と広域観光を開拓しておる。これを裏付けるようにリットが大きい」と説明する。これで岐阜、金沢、福岡、長崎県雲仙、佐賀県武雄の各市も一丸となつて観光資源を発信していく。

込んだ。各旅行社は“未知の新庄最上”に興味と関心を示すとともに、インバウンド誘客に向けた助言もあり、今後観光戦略を立てて、上で実りあるキャンペーンとなつた。

未知の魅力、高い関心 広域連携の重要性 確認



新庄最上地域など3地域の観光資源などを王振政・福泰旅行社社長（左から3人目）に売り込む台湾訪問団=台北市

台北国際旅行博への参加
の合間に縫つて、訪問団は
各旅行社を回りセールスを
繰り広げた。「新庄は山形
新幹線の終着駅。自慢は国
指定重要無形民俗文化財の
新庄まつり。スキーや温泉、
味覚も楽しめる」

か」「仙台から新庄までの
バスの所要時間は」など具
体的な質問が相次いだ。台
湾ではよく知られている最
上川舟下り観光。だが同じ
最上エリアながら、意外と
知られていない観光資源も
ある。あらためて観光PR

（長野）の忠地智司観光相
本観光コンベンション協会
旅行博に参加していた松
Rの手立てを考えるべき
だ。台湾人は魅力のないと
ころには行かない」とアド
バイスした。

台湾訪問団に加わった最上峠芭蕉ライン観光の鈴木富士雄社長(60)は「インバウンド誘致は新庄最上だけではなく、大崎、湯沢の3地域がもつと連携して取り組み、地域活性化につなげほしい」、矢口正義新庄商月)に参加を要請されたの

参考にならなかった。今後のイ
バウンドの誘客に生かし
いきたい。「継続は力なり」
で、民間団体を巻き込んで
新庄最上地域をどう売りこ
んでいくかが課題だ」とさ
めくつた。